

# NEUTRAL 通信

「まるで本屋に立ち寄るかのように、アートやクラフトを気軽に楽しんでもらいたい」というNEUTRALのコンセプト実現に向け、今回より新たにNEUTRAL通信を発行します。作品鑑賞のヒントとなりますように。

## BARORORM SQUAD 1人でも立ってられるって!

2022.7.16 sat. - 8.7 sun.



美術家

米村 優人 (よねむら ゆうと) / YUTO YONEMURA

1996年大阪府生まれ。京都造形芸術大学美術工芸学科総合造形コース卒業。彫刻の技法を用いて、人智を超越した「超人像」を石や木などのオーソドックスな彫刻素材やFRPを用いて制作。2018年京都造形芸術大学卒業制作展にて優秀賞受賞。主な展示に「アートアワード丸の内2019」(新丸ビル、東京、2019)、「KUAD ANNUAL 2019 宇宙船地球号」(東京都美術館、2019)など。

## 堀川新文化ビルディング 館内インフォメーション

大垣書店  
OGAKI BOOKSTORE

「祇園祭」フェア開催中! 雑誌『月間京都 7月号 祇園祭特集』をはじめ、わかりやすい解説のものから硬派なものまで幅広く取り揃えております。また山鉦巡りに欠かせない『祇園祭御朱印帳』もお取り扱い中! 京都新聞の祇園祭特集も無料配布しております(数量限定)。3年ぶりの祇園祭をぜひ店頭にて楽しんでくださいね!

営業時間: 10:00~22:00 TEL: 075-431-5551



モーニングからランチ、ティータイム、夜はお酒を飲みながら...。1日を通してゆったりとした時間をお過ごしいただけます。《夏季限定メニュー》フロズンライムレモネード、アボカドミルクシェイク

営業時間: 8:30~23:00 TEL: 075-431-5551

SHOKODO  
KYOTO

印刷会社「修美社」が運営する印刷工房。本屋の中で本づくりから販売展示の提案をしています。

7月30日まで「タカターニャの森開き」の展示を開催中です。

営業時間: 10:00~18:00 TEL: 080-4248-3432 月・日祝定休

NEUTRAL

[EXTRA-NEUTRAL]  
progression Tomide  
2022.07.16sat. - 2022.07.31sun.

本展では作家・Tomide が線と面で描いたたくさんの動物たちの絵を館内各所でご覧いただけます。

営業時間: 10:00~19:00 TEL: 075-431-5537

Gallery P A R C  
GRAND MARBLE

すべてしるべ(再) 2021-2022 #02 先見の形骸団子  
田中秀介 Tanaka Shusuke

2022.07.09 sat. - 2022.07.31sun.

【関連イベント】7月16日、7月23日 夕方16時より、田中秀介が展示や作品にまつわる諸々をお話します。参加無料・予約不要。

営業時間: 13:00~19:00 TEL: 075-334-5085 水・木定休



〒602-8242 京都府京都市上京区毘叟町287

[アクセス]

○地下鉄東西線「二条城前」駅より徒歩15分

○京都市バス9番・12番・50番・67番系統

「堀川中立売」バス停下車徒歩1分

○駐車場・駐輪場あり

※満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。

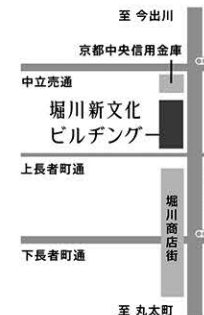


ホームページ



Instagram

お問い合わせはHPまで



——作家を志したきっかけを教えてください。

幼少期、父がアニメや特撮好きでゲッターロボやマシンガンZなどをよく観ており、私も「ロボット」「ヒーロー」「超合金」などに惹かれていました。ストーリーや映像に惹かれたわけではなく、造形が好きだったのをおぼえています。そのなかでも特に「人型」に興味を持っていました。なぜか乗り物や武器、変身ベルトなどには興味を示さず…。

話はそれますが、小さいころから「巨像恐怖症」でした。巨人や恐竜とか大きい像が怖くてみられないのです。そうなたきっかけは、和歌山県にある白浜エネルギーランドという遊園地で、赤青の3D眼鏡をかけて乗り込む、巨大な恐竜が出てくるアトラクションが怖すぎたこと。それ以降、巨像があったらどうしようと不安で美術館や水族館などに行けなくなりました。大きい絵なども苦手です。ただ、なぜか自分で作る作品も3〜4mクラスのものがあるのですが、それは怖くないんです。

話を戻すと、幼少期の影響で中学校に入学する前から美術に関心がありました。しかし、中学入学と同時に美術部が廃部に。そんななか、ガタイがいいことからラグビー部へ勧誘され入部。高校はデザイン系の学校への進学が叶わず、体育会系が強い学校へ。その高校のラグビー部コーチが中学のラグビー部とつながっており、今度こそ美術部に入部しようと思ったらまたラグビー部に勧誘されしぶしぶ入部。大学からもラグビーで推薦を貰ったものの、これまで6年やってきてさらに4年やるのは厳しいということで覚悟を決めて京都芸術大学を受験し入学。総合造形コースに入りました。

大学時代は立体を学びつつ、大学の副手を務めておられる方に授業外でも塑像\*などを学びました。一回生の夏休みはその方に「将来なになりたいの」と聞かれ、よくわからないまま彫刻家になりたいと答えたら「君は向いてないからなれないよ」といわれました。非常に驚いたのですが、リスペクトもあったため、アカデミックな視点から彫刻への知識があることを知っており、さらにリスペクトもあったためにその言葉を真に受けてしまい自身の制作活動がストップ。その後はバイトをしつつ遊んで過ごすこととなりました。

三回生ごろから展示搬入の手伝いなどでほかの作家さんとの交流が増えてきました。そのころ、シェアスタジオ「山中スープレックス」の作家さんと巡り合い、「君、石彫りなよ」といわれ、「？」となっていたところ「石彫ったら彫刻なるで」との言葉でそろそろかと納得したのをおぼえています。

とはいえなんで石彫ったら彫刻になるんや？ と思いつながら制作したら最初の作品ができました。大学卒業後は誘っていたこともあり大学のアシスタントとして入りつつ、展示の機会に恵まれ、今に至ります。

いま思うとはっきり作家で行くぞ！ みたいなのはないですね。周りの人たちが面白くて、自分もそのなかで活動したいという気持ちがあったのは確かです。そんななかで、最近では自分でも突き詰めたいテーマが徐々にみつかりつつある、というのが現状です。

——作家活動するなかで影響を受けている人はいますか。

うーん、個人では特に思いつきません…。個人というよりは一回り上の世代の作家さんがされている活動から影響を受けていると思います。「山中スープレックス」や「VOU/棒」といった、一から場をもつてなにかを作り上げるような活動とか。

——それを踏まえて今どのような活動のビジョンを持っていますか？

個人の活動として、いわゆる男性彫刻でイメージされる、強い男性のイメージと、彫刻で使う素材の強さがかけ合 わさって作られる「強さを連想させる彫刻」ではなく、つまり、自身は彫刻家ではなく美術家として、日常的な出来事での内面や心情をあえて意識して彫刻という方法で表現することを意識しています。

——ありがとうございます。最後に、展示をみにきてくださる方に一言お願いします。

この度は、展覧会「BARORORMSQUAD/1人でも立ってられるって！」をご観覧いただきありがとうございます。1人で立ってられるって！”とっておきながら、数々の友人、後輩、先輩方の助けがあり、活動を続けられております。日々精進してこれからも頑張っていきます！ よいしょ！

※塑像 粘土など、可塑（かそ）性のある材料を用いて造った像



今まで一番お気に入りの本、雑誌

「空中ブランコ」（いしいしんじ）元カノに貰ったやつ。

「孤独なる彫刻」（柳原義達）

「チエンソーマン」（藤本タツキ）